

平成30年度財務書類（バランスシート）を公表します

財政状況に対する理解を深めていただくため、民間の会計基準を活用し財務書類を作成しています。

平成30年度決算に基づき、国より示された統一基準を用いて財務書類4表を作成しました。

ここでは、財務4表のうち「貸借対照表（バランスシート）」のみ掲載しています。それ以外の財務書類は市のホームページに掲載しましたので、そちらをご覧ください。

貸借対照表（バランスシート）とは

地方公共団体の決算は、その年度における収入・支出の状況を表しているのに対し、貸借対照表は今までに市が建設してきた学校や福祉施設、道路、公園などの資産（市民の財産）の状況と、そのために将来負担しなければならない借入金などの負債を把握することができます。

一般会計等バランスシート

（平成31年3月31日現在）

借方（資金の使われ方）		貸方（資金調達のされ方）	
1 固定資産	1,109億2,482万円	1 固定負債	259億7,436万円
①有形固定資産	④ 1,022億6,442万円	①地方債	233億8,667万円
事業用資産	665億7,460万円	②退職手当引当金	25億8,769万円
（庁舎、学校、保育所、児童館、福祉施設等）		2 流動負債	34億1,144万円
インフラ資産	355億5,979万円	①1年内償還予定地方債	26億1,205万円
（道路、公園等）		②賞与等引当金	5億7,003万円
物品	1億3,003万円	③預り金	2億2,936万円
②投資その他の資産	86億6,040万円	● 負債合計	◎ 293億8,580万円
（出資金、基金、長期延滞債権等）			
2 流動資産	72億3,404万円	1 純資産	887億7,306万円
①現金預金	20億7,738万円	● 純資産合計	④ 887億7,306万円
②基金（財政調整、減債）	45億8,238万円		
③未収金、短期貸付金等	5億7,428万円		
● 資産合計	⑤ 1,181億5,886万円	● 負債・純資産合計	1,181億5,886万円

資産合計 1,181億5,886万円 【市民1人当たり 197万円（192万円）】
 負債合計 293億8,580万円 【市民1人当たり 49万円（47万円）】
 純資産合計 887億7,306万円 【市民1人当たり 148万円（145万円）】

※（ ）内は前年度数値

※平成31年3月31日現在、住民基本台帳人口 59,981人

※上記のバランスシートは、一般会計と石橋駅周辺土地区画整理事業特別会計、仁良川地区土地区画整理事業特別会計、歳入歳出外現金を合算したものです。



バランスシートから分かること

これまで市は、1,181億5,886万円⑤の資産を形成してきました。そのうち、有形固定資産（学校・道路・公園など）の1,022億6,442万円④が将来に引継ぐ資産になります。

資産のうち、887億7,306万円④は、これまでの世代の負担で、すでに支払いが済んでいます。残りの293億8,580万円◎を将来の世代が負担していくことになります。

純資産の方が、負債より多いほど健全な財政運営ができているといえます。